



森下 尚子 医師
(吉備医師会から)

ぼうこう炎は、肛門や膣付近の細菌が尿道からぼうこうへ感染することによって起こります。女性の尿道は男性に比べて短く、尿道や膣が肛門から近いので、ぼうこう炎は女性に多い病気です。通常の状態では細菌に対する抵抗力がありますが、さまざまな理由で抵抗力が低下しているとぼうこう炎を起こします。

安全・安心 総社署からのすすめ

携帯電話やインターネットのゲームサイトなどのコミュニティサイトや出会い系サイトを通じて知り合った人に、児童が裸を撮影される被害や、脅かされたり、だまされたりして自分の裸を撮影してメールを送信してしまう被害が増加しています。

撮影された写真が一度インターネット上に流出してしまえば、回収することができません。

児童ポルノは子どもに対する

今月のテーマ ぼうこう炎

症状がある人は早めに医療機関へ

主な症状は、「何度もトイレに行きたくなる」、「排尿後に痛みがある」、「残尿感がある」、「尿が濁ったり、血が混じることがある」などがあります。診断はこれらの症状と尿の検査を合わせて行います。

治療は抗生剤の内服が必要となります。薬を服用すると数日で症状は治まりますが、途中で服薬を中止すると症状が再発することがあるので、薬はきちんと服用しましょう。また、薬の内服とともに水分を多く取り、こまめにトイレに行くようにし、尿意を我慢しないようにしまし

よう。抵抗力を落とさないようにするために、体を冷やさないようにしてしっかり休息をとることも必要です。

症状がひどくなった場合は、ぼうこう炎から腎盂炎などに発展する場合もあるため、ぼうこう炎を疑うような症状があった場合は早めに医療機関に行って治療しましょう。

また、ぼうこう炎がなかなか完治しなかったり、すぐに再発したりする場合は、ほかの尿路の疾患が存在する可能性があるため、専門医での精査が必要となります。

児童ポルノ被害から守りましょう

重大な人権侵害ですので、根絶しなければなりません。

【子どもの携帯電話やパソコンにフィルタリングを】

子どもが使う携帯電話やパソコンには、フィルタリングをしましょう。フィルタリングとは、子どもが見るのに好ましくないサイトへのアクセスを制限する機能です。フィルタリングを設定することによって、子どもが犯罪やネットトラブルなどの被害に遭うのを未然に防止することができます。

【親子の関わり方を見直しましょう】

インターネットを通じて、児

童が被害に遭うケースが増加しています。家庭でインターネット、携帯電話を利用するルールを設け、子どもにその危険性をよく認識させることが大切です。そして、子どもが気軽に相談できる関係をつくりましょう。

【携帯電話を使用する際の約束を決めましょう】

- 出会い系サイトには絶対にアクセスしない
- 知らない人とはメール交換はしない
- サイトで知り合った見知らぬ相手には会わない
- 裸や下着の写真は送信しない

監修・問い合わせ 総社警察署 (☎94-0110)

そうじゃ地食べオンラインショップが開店

インターネットで総社産の農産物を購入

市では11月13日、「そうじゃ地食べオンラインショップ」を開店。そうじゃ地食べ公社に業務を委託し運営していきます。

総社産の米や生鮮野菜を中心に加工品、市内の商店の商品なども取り揃えてい

く計画。まずは、25年度産の新米から販売をスタートしています。そうじゃ地食べオンラインショップでは、商品の販売を通じて全国の人に総社の魅力を発信するとともに、生産者の顔や声が届く「人とのつなが

り」を感じingショップを目指します。時間と場所を選ばず買い物ができ、希望の場所へ商品を届けることができる便利なネットショップ。皆さん、自身での購入はもちろん、市外に在住の知人や親戚への贈り物にもご利用ください。



地食べオンラインショップのアドレスは<http://chitabe.shop-pro.jp/>。こちらのQRコードからもアクセスできます

大臣・知事表彰の受賞者を紹介

◆法務大臣表彰

人権擁護委員の風早毅さん(地頭片山)が10月21日、法務大臣表彰を受賞されました。風早さんは、平成14年からこれまで約11年間にわたり、人権擁護委員として活動。平成22年度からは、倉敷人権擁護委員協議会の副会長に就任されています。市内はもとより岡山地方法務局倉敷支局管内で、人権擁護と人権思想の普及・高揚に取り組んでこられた功績がたたえられ受賞となりました。



風早毅さん

◆県農林漁業功労者表彰 知事表彰

剣持将己さん(福谷)が10月20日、県農林漁業功労者表彰知事表彰(農産部門)を受賞されました。剣持さんは、モモ産地のリーダーとしての活躍や担い手育成、モモの大規模経営の確立などの功績がたたえられ受賞となりました。

◆農林水産大臣賞、県農林漁業近代化表彰

農事組合法人山田営農組合(山田、三宅重信代表理事)が10月20日、農林水産大臣賞と県農林漁業近代化表彰(農産部門)を受賞されました。同組合は、高齢化で耕作放棄地の発生が懸念される地域で、水稲、麦などの大規模水田営農を確立。ナタマメの農産加工や付加価値をつけた水稲栽培による経営の多角化を図ったことなどが評価されました。



10月22日、剣持将己さん(右)と山田営農組合の三宅重信代表理事(左)が市長に受賞を報告